

Corporate Social Responsibility Report

CSR報告書2022

 朝日印刷株式会社



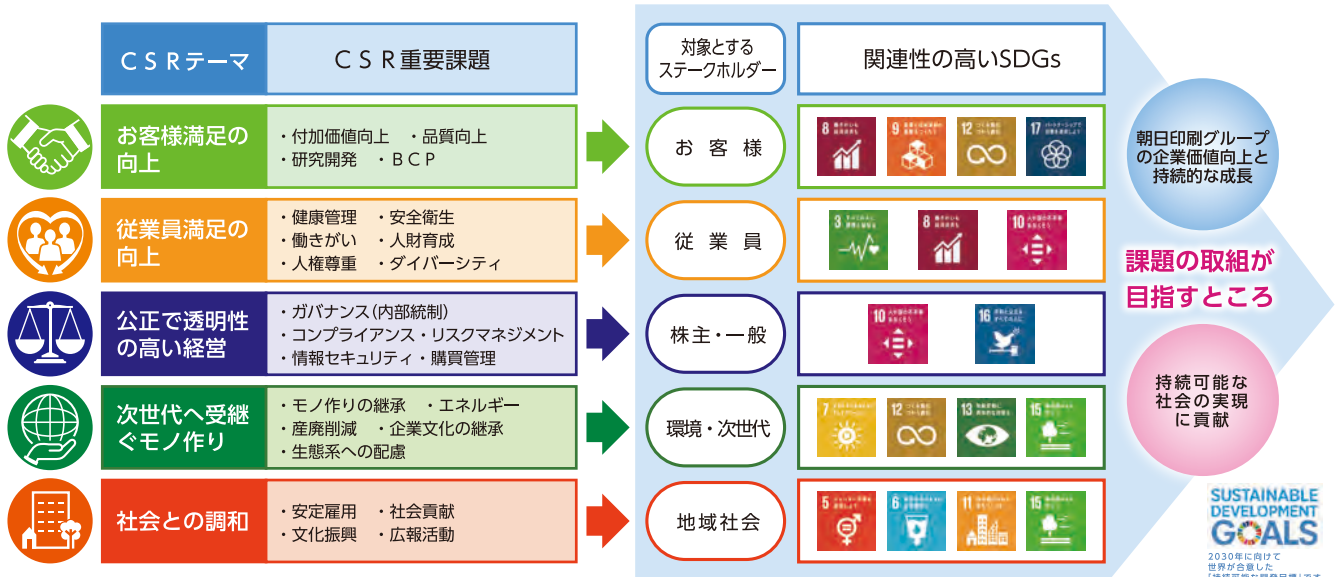
Contents

- CSR方針 2
- ご挨拶（トップメッセージ） 3
- 朝日印刷グループ経営理念・新中期経営計画AX2024・Topic 4
- 会社情報・拠点一覧 6
- 事業内容 7
- 事業の状況 8
- 財務ハイライト（連結） 9
- 特集記事
 - ・ABS Sustainable Paper Factory 10
- 朝日印刷のCSRテーマ
 - ・お客様満足の上昇 12
 - ・従業員満足の上昇 14
 - ・公正で透明性の高い経営 16
 - ・次世代へ受継ぐモノ作り 18
 - ・社会との調和 20
- 事業関連データ 22

CSR方針

「私たちは、美と健康の包装に関する事業を環境と調和させ、未来に向けて継続することで社会的使命を果たし、お客様と社会に貢献していくことを目指します」

上記方針に基づき、朝日印刷グループのCSR活動に対する基本的な考え方を定め、その活動を5つのテーマに分けて推進していきます。



朝日印刷グループでは事業活動を通じて、SDGs推進に貢献していきます。

ご挨拶（トップメッセージ）



今、世界は激動の中にあり変化を問われています。地球温暖化による気候変動、かつて経験したことのない自然災害の発生、海洋プラスチックごみ汚染など様々な環境問題が山積する中、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での感染拡大が起こり、これまでの価値観の変容を余儀なくされる事態となっています。

その影響は大きく、世界中が今後の社会のあり方を自らに問う機会となりました。朝日印刷もまた社会の一員として事業経営を通じて社会の持続可能性に取り組む契機としていかなければならないと考えます。

朝日印刷は創業150周年を迎えました。歴史の重みを感じるとともに、先達の方々をはじめ朝日印刷を支えていただいた多くの方々のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

この長い歴史は、人々の健康を支える製薬に欠かせない分野で、品質にこだわった印刷包材を長く安定供給する社会的な責任を果たしてきた歴史でもあります。引き続き「美と健康の包装に関する事業」で、企業としての誠実な姿勢を守りながら次の世代やその先の未来に向けて継続していくことで、サステナブルな社会の実現に努力してまいります。

加えて、当社の印刷包材に求められるニーズも変化し多様化しています。特に環境対応など地球にやさしい製品づく

り分野では、SDGsの達成に貢献するFSC® 認証紙／PEFC認証紙の使用、ごみの減量化につながる簡易廃棄パッケージ、植物由来の原料を使用しながら石油製品と同等の物性を持ったバイオプラスチック、廃棄物である砂糖きび搾りかすと竹の繊維が素材のパッケージ（パルプモールド）、また、デリケートな医薬品には緩衝材無しでも衝撃に耐えるよう瓶が宙に浮く構造の製品などの提供を通じて「美と健康の包装に関する事業」を環境と調和させながら、未来に向け、社会的使命を果たし、お客様と社会に貢献してまいります。

今後とも皆様の変わらぬご支援とご指導をよろしく申し上げます。

2022年7月

代表取締役社長 **朝日 重紀**



包むところを大切に 新たな第一歩を

朝日印刷グループ経営理念・新中期経営計画AX2024・Topic

朝日印刷グループ経営理念

当社グループは2022年4月に迎えました創業150周年を機に新たな経営理念を掲げております。

お客様本位を最優先としつつ、会社の発展だけを優先した経営でなく従業員が仕事にやりがいと幸せを感じて成長しそれを会社の成長につなげていく。

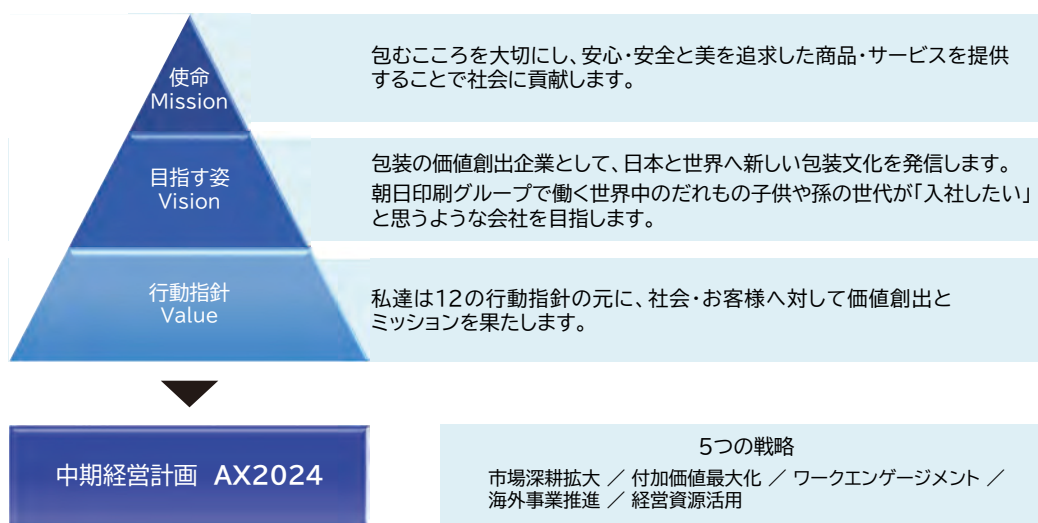
これは朝日印刷で代々受け継がれてきた企業精神です。

経営理念

お客様本位を基本とし、
企業の永続成長と従業員の幸福とが一致する経営を目指します。

朝日印刷グループの使命と目指す姿

当社グループの社会へ果たすべき信念を「使命：Mission」、朝日印刷の追求する理想像を「目指す姿：Vision」、そしてグループ共通の「12の行動指針：Value」を定めております。これらに基づき、朝日印刷グループ社員が一丸となってお客様への貢献と社会の発展に寄与するとともに企業のアイデンティティの発信に努め、企業価値の向上と持続的成長を図ってまいります。



新中期経営計画 AX2024をスタート

当社グループは本年2022年4月からAD2021計画を引き継ぎ、2024年度までに目指す姿を示す新たな中期経営計画「AX2024」（朝日トランスフォーメーション2024）をスタートしました。

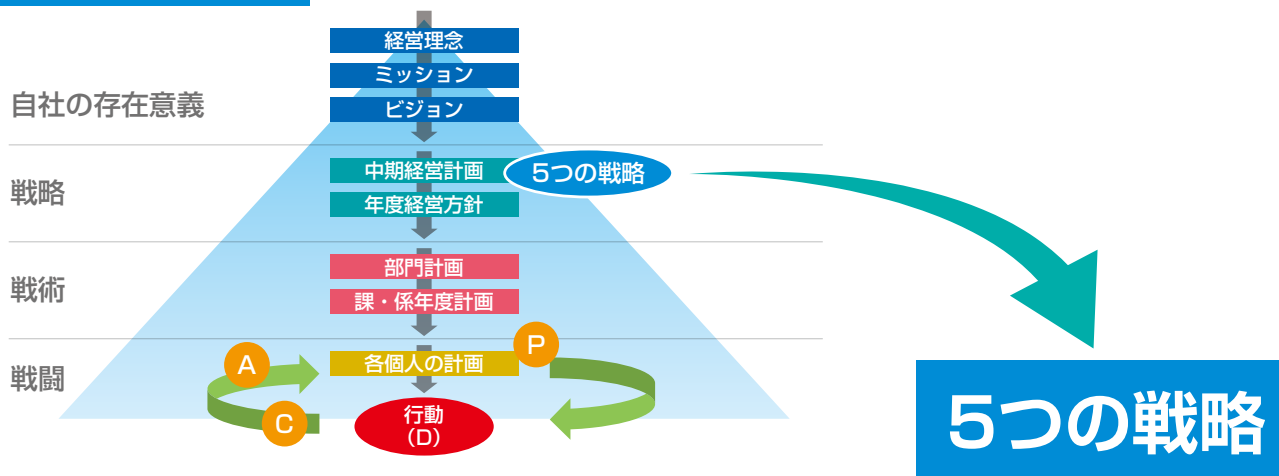
「包むところを大切に新たな第一歩を」をスローガンに以下の5つの事業戦略を実行することで、お客様へ対して包装の揺るぎない付加価値を創出し、朝日印刷グループ全体の企業価値向上に努めてまいります。

「AX2024」 5つの戦略

市場深耕拡大	医薬・化粧品市場の戦略的シェア拡大と新しい事業領域への挑戦 (ラベル事業強化 / 包装システム / 新事業)
付加価値最大化	仕事の最大効率化とお客様への付加価値を極める
ワークエンゲージメント	Asahiグループ全従業員が仕事に対して夢とプライドを持ち最高のパフォーマンスを発揮できる体制を構築する
海外事業推進	富山から全世界に向けてASEAN事業拡大と次の市場進出戦略
経営資源活用	Asahiグループ全ての資源・技術を結集しグループ事業全体で最大の力を発揮させる

新中期経営計画～AX2024（朝日トランスフォーメーション2024）

中期経営計画の位置づけ



- 医薬品・化粧品市場別戦略により、その市場でシェアNo.1を確立
- 市場別成長戦略に沿ったシェア拡大
- 朝日印刷オリジナル製品販売のためのプレゼン専門組織

市場深耕拡大

付加価値最大化

- 得意先への絶対的価値を極める
- 企画・提案の圧倒的スピードと質
- IOT・AIを駆使した省力化・少人化によりLow Cost Operation体制を構築する

2024年度
売上420億円
営業利益率 7%
ROE 6%
配当性向 40%

ワーク
エンゲージメント

海外事業推進

- ASEANで事業拡大
- 欧米での進出先の検討
- グローバル人材の育成

経営資源活用

- 事業の将来性を感じる
(200年企業・子や孫が入りたくなる会社)
- 仕事の意義・貢献
(朝日印刷グループで働くことに誇りを感じる)
- 自己成長実感
(やる気がある人には成長のチャンスがある)

- サステナビリティ
- 人材育成
- IT基盤整備・研究開発力強化

Topic…当社初のグリーンボンド発行



当社は企業の社会的責任として安心・安全・環境をテーマに地域社会に貢献できる企業を目指しております。このような方針の下、環境に関わるテーマ「次世代へ受継ぐモノ作り」に関連するプロジェクトである環境負荷の少ない「京都クリエイティブパーク西棟」を建設し、この建設資金の一部を調達するため、当社初となるグリーンボンド^(※)を発行しました。

〈グリーンボンドの概要〉

発行総額	35億円
発行日	2022年2月3日
償還期限	2027年2月3日（5年債）
資金使途	京都クリエイティブパーク西棟建設に要した借入金の返済資金

※グリーンボンドとは：地球温暖化対策や再生可能エネルギーなど環境分野への取り組みに特化した資金を調達するために発行される債券のこと。



会社情報・拠点一覧

会社情報

会社名	朝日印刷株式会社
本社所在地	〒930-0061 富山県富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル
TEL	076-421-1177(代)
URL	https://www.asahi-pp.co.jp/
主な事業内容	印刷・包装資材の企画、製造、販売、包装システム販売事業
設立	1946年5月
資本金	22億2,875万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場
決算	年1回、3月
代表者	代表取締役社長 朝日 重紀
社員数	1,684名（有期社員・パートおよび派遣社員は除く）

拠点一覧

営業拠点 (事務所含む)	東京支店（東京都台東区） 名古屋支店（愛知県名古屋市北区） クリエイティブセンター/富山営業部（富山県富山市） メーク営業部（東京都中央区） 東北営業所（山形県山形市） 高崎営業所（群馬県高崎市） 金沢営業所（石川県金沢市） 三重営業所（三重県津市） 奈良営業所（奈良県橿原市） 神戸営業所（兵庫県神戸市） 山口営業所（山口県山口市） 熊本営業所（熊本県熊本市）	大阪支店（大阪府大阪市北区） 新宿支店（東京都新宿区） 東京クリエイティブオフィス（東京都台東区） 宇都宮営業所（栃木県宇都宮市） 東海営業所（静岡県富士市） 岐阜営業所（岐阜県岐阜市） 滋賀営業所（滋賀県甲賀市） 京都営業所（京都府京都市） 徳島営業所（徳島県徳島市） 福岡営業所（福岡県福岡市）
工場	富山工場（富山県富山市） 富山南工場（富山県富山市）	富山東工場（富山県富山市） 京都クリエイティブパーク（京都府木津川市）
物流センター	富山SCMセンター（富山県富山市）	

グループネットワークと 全国に広がる販売網で ニーズにお応えいたします



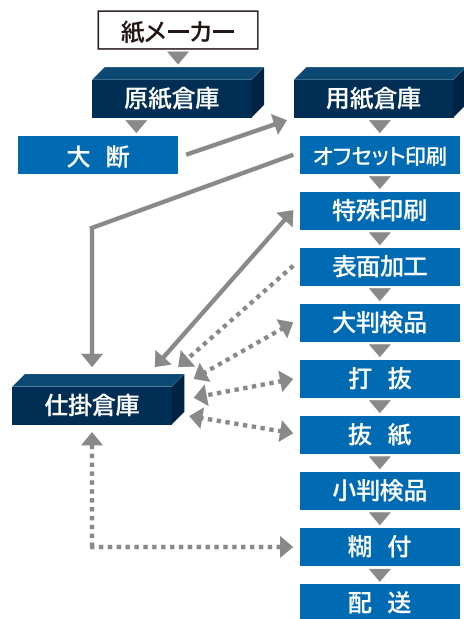
資材調達・製品開発

- ・印刷包材等の製造に必要な、「紙」、「インキ」、「塗料」、「糊」などの資材を、各種メーカーや商社より調達しています。
- ・様々なメーカーのご協力のもと、当社オリジナルの資材の開発を共同で実施し、当社独自の印刷資材によって製品の差別化を行っています。



印刷・包装資材の製造

- ・製品の品質向上と生産の効率化を実現するため、すべての工場で一貫生産体制を整えています。資材の投入から印刷・加工・打抜・糊付・梱包までの全工程を同一工場内で行うことで、統一された品質基準、環境管理下での生産が可能になるとともに、製品に対するお客様のさまざまなご要望に、柔軟かつスピーディな対応ができる体制となっています。
- ・常に高い品質と生産性を追求するため、最新鋭の生産設備やシステムを積極的に導入しています。それらの多くは、よりの確にお客様のニーズに応えるために自社開発、あるいは社外との共同開発によって最適化された「朝日印刷オリジナル」仕様。たとえば、東工場に導入されている枚葉オフセットコンビネーション多色印刷機は、高度な意匠や多様な表現が求められる化粧品パッケージの生産を、より効率的に、安定した品質で実現するためにメーカーと共同開発した日本初の印刷機です。その他にも、デジタルデータ照合校正とそれに伴う印刷データ管理に自社開発のシステムを使うなど、各工程で独自の品質追求を進めています。



【一貫生産のチャート図】



お客様

- ・医療用医薬品パッケージ、OTC医薬品パッケージ、化粧品パッケージなどお客様の様々なニーズにお応えするパッケージを提供しています。



事業の状況

経営方針、経営環境及び対処すべき課題等

経営方針

朝日印刷グループ経営理念

当社グループは今年4月に迎えた創業150周年を機に以下の新たな経営理念を掲げました。

「お客様本位を基本とし、企業の永続成長と従業員の幸福とが一致する経営を目指します。」

これはお客様本位を最優先としつつ、会社の発展だけを優先した経営ではなく、従業員が仕事にやりがいと幸せを感じて成長し、その結果が会社の成長につながっていくという、朝日印刷で代々受け継がれてきた不易流行の精神です。

「朝日印刷グループの使命と目指す姿」

当社グループの「使命：Mission」は包むところを大切に、安心・安全と美を追求した商品・サービスを提供することで社会に貢献することを信念としています。また、朝日印刷グループの「目指す姿：Vision」で示す理想の追求により、朝日印刷のあるべき姿を目指していきます。グループ共通の「12の行動指針：Value」で、従業員それぞれが指針に基づいた活動を推進していくことにより、お客様への貢献と社会の発展に寄与するとともに企業のアイデンティティの発信にも努め、企業価値の向上と持続的成長を図ってまいります。

朝日印刷グループ：12の行動指針

「仕事の充実」

1. 印刷・包装No.1のプロフェッショナルとして製品一つ一つに誇りを込めて仕事をします。
2. お客様の新しい価値創出に向かって、常識に囚われずチャレンジし続けます。
3. 一人ひとりが夢を持ち、仕事を通して夢を叶えられるような会社にします。

「心身の健康」

4. 私たちの働き方の多様性をお互いに理解・尊重します。
5. プロとしてベストな状態で仕事ができるように、心と身体の健康を大切にします。

「仲間との良い関係」

6. 感謝の気持ち、仕事の感動を言葉と笑顔で伝えます。
7. 自分と異なる意見にも耳を傾けて、より良い結果へ向けてお互いに協力します。

「エンゲージメント・帰属意識」

8. 会社のミッションは役職や部門の壁を越えて達成します。
9. 仕事の成果は関わってくれた全ての人々の力であることを忘れずに感謝します。
10. 富山から世界へ自慢できる幸福な会社を目指して、私たち自身で会社を変えていきます。

「社会貢献」

11. 紙と包材事業を通して持続可能な社会へ貢献する会社であり続けます。
12. 私たちの製品は人々の生活と命を守るものであり、安定品質と供給責任を果たします。

経営戦略等

当社グループは本年2022年4月からAD2021計画を引き継ぎ、2024年度までの目指す姿を示す新たな中期経営計画「AX2024」（朝日トランスフォーメーション2024）をスタートしました。

これは、2022年度から2024年度までの3年間を対象とする新中期経営計画であり、「包むところを大切に 新たな第一歩を」を合言葉に、強力に推進してまいります。

売上に左右されない利益の確保に加え、資本効率の観点から、自己資本利益率の向上による企業価値の増大を目指してまいります。ま

た、株主還元にあたっては、配当性向を重要な経営指標と定め、以下の5つの事業戦略を確実に実行することで、体質改善・体力強化に取り組み、収益性を改善し企業価値を向上させてまいります。なお、計画最終年度の2024年度においては、売上高420億円、営業利益率7%、自己資本利益率6%を目標に、安定的に連結配当性向40%以上を実現できる経営基盤の構築に努めてまいります。

グループ経営理念・新中期経営計画につきましてはp. 4, 5をご参照ください。

経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

目標とする経営指標としては、中期経営計画の設定期間において売上高及び営業利益率の達成目標を設定し、PDCAを効率よく運用することで目標達成を目指してまいります。

また、売上高に左右されずに適正な利益を生み出せる強靱な経営体質の構築を目指しており、その指標として自己資本利益率（ROE）を重視しております。

今後も中長期的に継続して、より高い自己資本利益率の達成を目指した事業運営に注力し、また、連結配当性向40%以上を維持することで持続的に企業価値・株主価値の向上を図ってまいります。

経営環境

当社グループの事業の中核である印刷包材事業の売上において、医薬品、化粧品市場向け印刷包材の売上高が高い割合を占めております。そのため、当社グループの経営成績は、医薬品業界、化粧品業界における企業再編やM&Aなどの変動をはじめ、これらの業界業績により、また、薬機法の改正など医療制度改革により、影響を受ける可能性があります。

事業上及び財務上の対処すべき課題

当社グループは近年激化する企業間競争に勝ち残るために、主要事業領域である印刷包材事業に、生産性向上を目的とした経営資源を投入することでモノ作り改革を進め、商品力・技術力・開発力でお客様に最高の価値をお届けできる感動提供企業を目指しております。AX2024計画での5つの事業戦略を確実に実行することで、体質改善・体力強化に取り組み、収益性を改善し企業価値を向上させていくことを財務上の課題として認識しております。

事業等のリスク

当社グループの事業その他に関するリスクについて、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる事項を記載しております。当社は、これらのリスク発生の可能性を認識したうえで、発生回避や発生した場合の対応に努める所存であります。

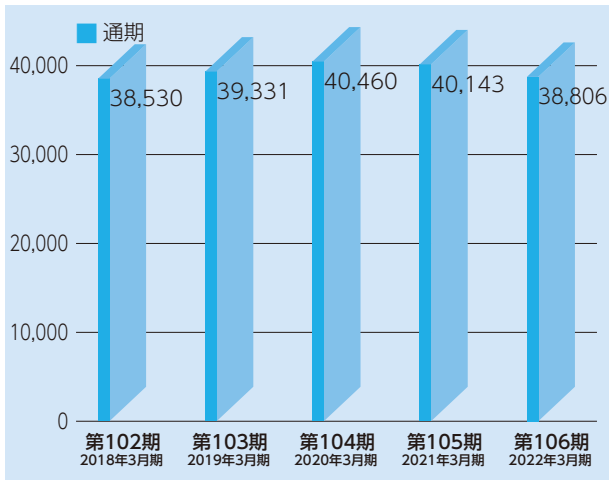
- ① 経済状況の変化
- ② 取引先が特定の業種に偏重していること
- ③ 特有の法的規制及び製品の不具合が生じた場合の責任
- ④ 新製品及び新技術に係る商品化
- ⑤ 知的財産権の侵害
- ⑥ 原油価格や為替レート等の変動
- ⑦ 原材料の供給状況による影響
- ⑧ 環境に関する法的規制
- ⑨ 設備投資
- ⑩ 情報セキュリティ
- ⑪ 電力の供給状況による影響
- ⑫ 地震等の災害
- ⑬ 海外事業展開
- ⑭ のれんの減損
- ⑮ 感染症対策

詳細につきましては、弊社の有価証券報告書（第106期）をご確認ください。

財務ハイライト (連結)

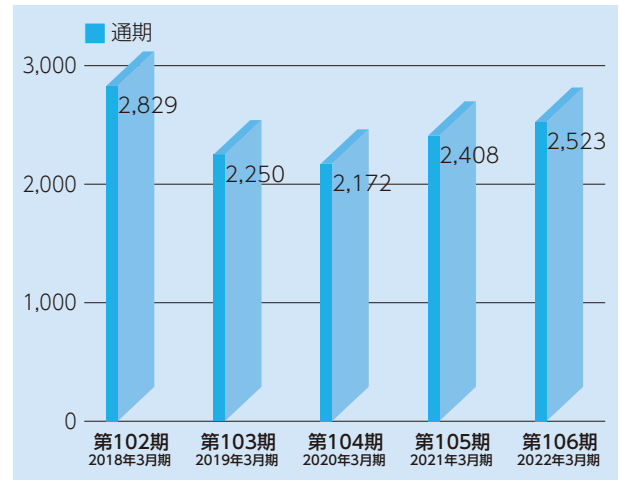
売上高

単位：百万円



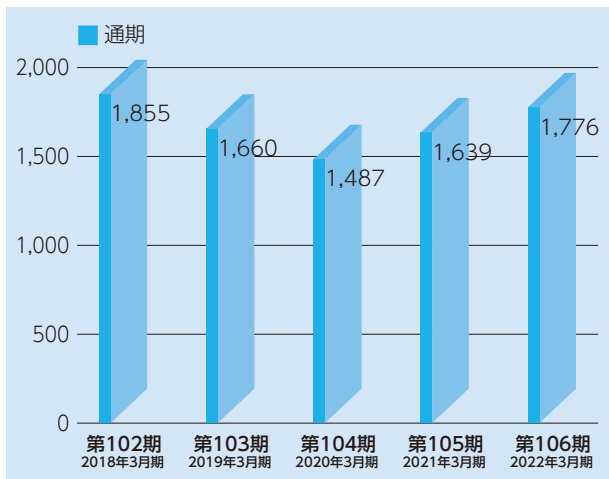
経常利益

単位：百万円



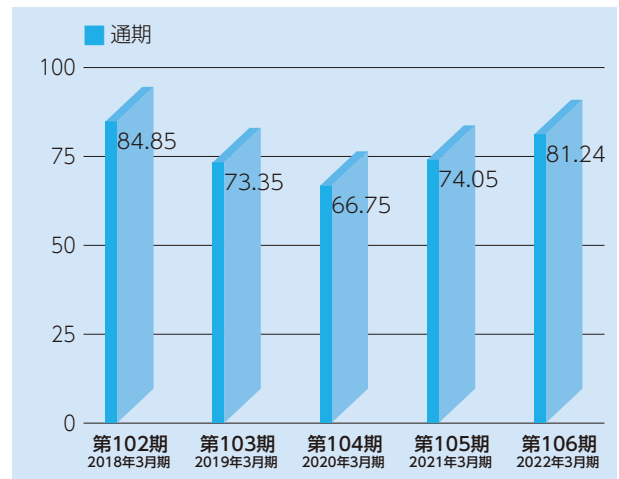
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



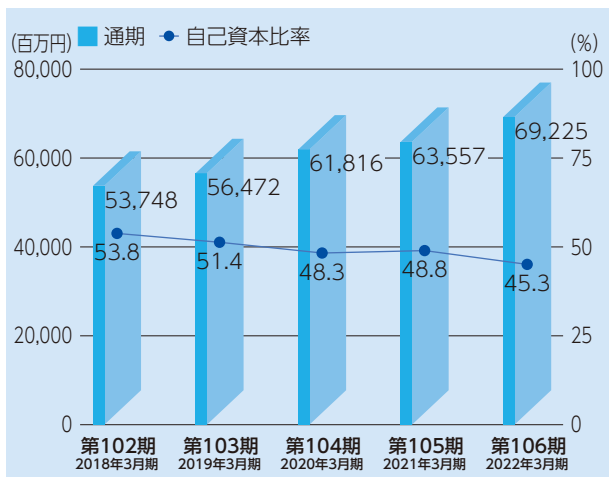
1株当たり当期純利益 ※

単位：円



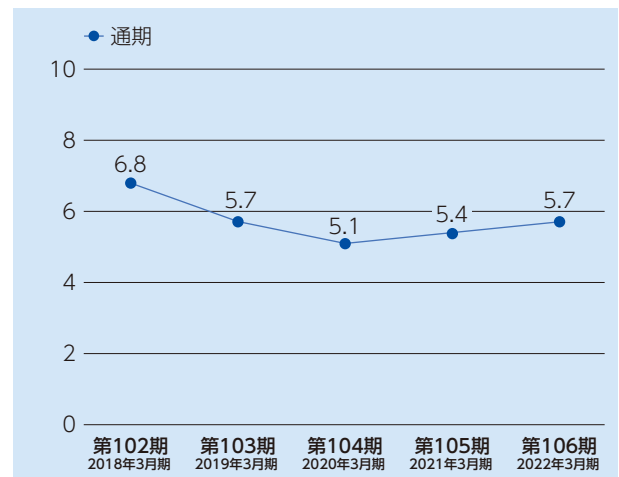
総資産／自己資本比率

単位：百万円／%



自己資本利益率 (ROE)

単位：%



※2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、株式分割を考慮した金額を記載しております。

ABS Sustainable Paper Factory



社内使用済みの紙



ペーパーラボ



電気、定着材、水（少量）

A4用紙(再生紙)



来客者向け
名刺・名刺箱



来客者向け
菓子袋等



- ・製造時に発生する使用済用紙を活用して、再生紙を製造する設備（ペーパーラボ）を導入しました。
- ・大量の水や電気を使用する通常の製紙とは異なり、少量の水のみで排水することなく再生紙を製造できる点が特徴で、操作も一般的なOA機器と同程度です。
- ・また製紙作業をグループの特例子会社である朝日印刷ビジネスサポートにて行うことで障がいを持つ方の活躍するフィールドを広げ、安定して働くことができる職場作りを行っております。
- ・これらの企業活動を通じて資源の節約（森林・水）、障がい者の活躍の場を提供、社員のSDGsへの取組意識の向上に努めてまいります。

ペーパーラボを活用した新しい古紙リサイクルシステムを導入

「市販の紙」と「ペーパーラボ再生紙」の比較



ペーパーラボ 1 台 × 1 年稼働による環境貢献数値
(8 時間 × 20 日 × 12 ヶ月で試算)

前提：それぞれ7.7 t の用紙にて算出、ペーパーラボによる紙の坪量は90g/m²

(注 1) P.R.VAN OEL & A.Y. HOEKSTRA (2010)

(注 2) 25m プール：長さ25m × 6 レーン (レーン幅 2 m)

(注 3) 東京都市大学 環境学部 伊坪研究室算出 (2018)

(注 4) 日本製紙連合会2011年公表値に廃棄物燃料分および流通段階分を加算 (伊坪研究室算出：2016)

(注 5) 古紙ハンドブック2017、環境省温室効果ガス算定事例 (2012)

ペーパーラボ導入での期待効果

社員にSDGsの活動を身近な取り組み・成果として体感



SDGsだけだと
どうすればいい
のか分からない
・・・。

ペーパーラボで、業
務とSDGsを最短で
繋ぐプロセスを体験

SDGsを実感
意識変革へ



CSRテーマ お客様満足の上

私達は、美と健康に関わる包装資材の製造を中核事業として責任ある供給体制を構築し、お客様のニーズを上回る製品・サービスの提供を行うことでお客様の感動を獲得します。

課題		2021年度目標	2021年度実績	評価
品質向上によるクレーム低減	①当社工場における不良発生件数の削減	17.3%削減 (昨比)	2.9%削減 (昨比)	×
	②改善提案・小集団活動実施	各職場の目標件数	一部未達	△
得意先の付加価値向上に向けた開発品の採用	①開発品採用点数、上市点数	上市3件	上市2件	△
	②特許・実用新案登録申請件数	登録申請10件	登録申請7件	△
BCP対応の推進	①整備・見直し	感染症を踏まえた整備・見直し	感染症に対する報告連絡体制の整備	○
ESG外部認証機関への参加	①認証機関対応窓口の創設	開設	開設済	○
	②プレゼン活動の推進(勉強会開催)	10回	4回	×

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。(○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満)

品質向上への取り組み

品質基本方針

包むことを大切に、お客様へ満足していただける商品・サービスを提供する。

当社は、お客様との取決め事項を順守し、常にお客様の立場に立って「包むことを大切に」ものづくりとサービス提供を行うことを目指して、これからも品質マネジメントシステムの見直しを続けていきます。

お客様目線に立って、そのような仕組み作りを自ら点検しながら、ご満足していただける商品を永続的にお届けするとともに、新たな付加価値をご提案し続けることにより、お客様より「選ばれ続ける企業」を目指します。

ISO9001：2015認証取得

当社は、1999年3月にISO9001認証を取得し、早くから品質マネジメントシステムを構築しています。これからも品質向上を進めていくためにISO9001認証を維持し、品質マネジメントシステムの見直しを継続的に進めていきます。



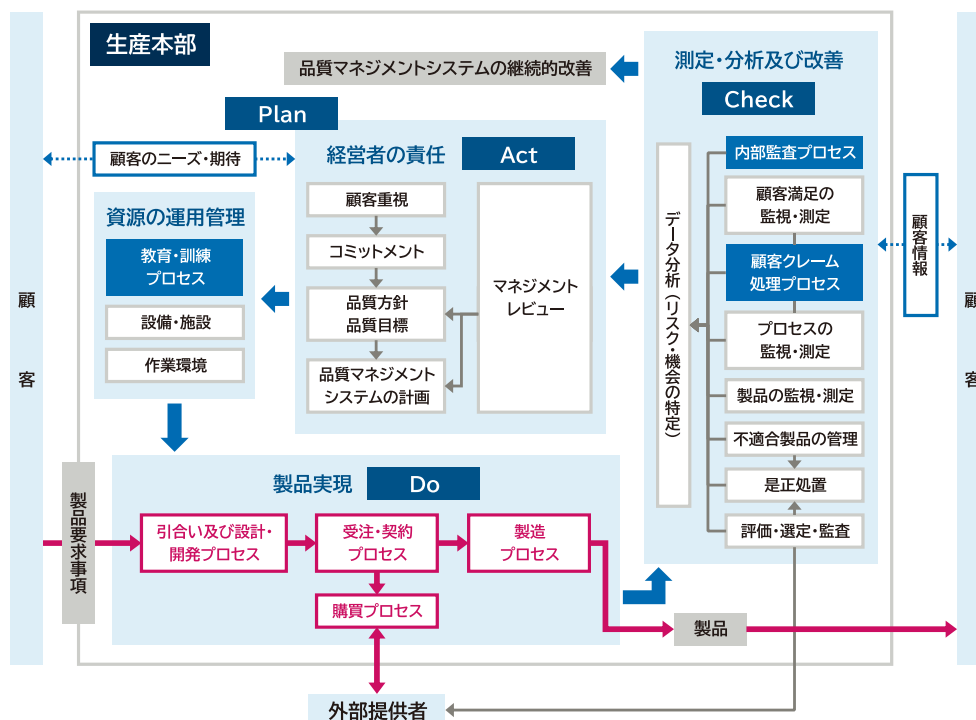
JQA-3168

【認証範囲】 生産本部

医薬品・化粧品などの包装材料及び添付文書的设计・開発及び製造

医薬品・化粧品容器などへのラベル的设计・開発及び製造

当社の品質マネジメントシステム図



環境対応製品・技術紹介

緩衝機能付パッケージ

2021年8月に施行された改正薬機法によりスタートした医療用医薬品・医療機器への添付文書の同梱廃止。これまで紙媒体を製品と同梱し、それを見ることで各種情報へアクセスしていたものを、パッケージにGS1コードを入れ、リーダーで読むことでタブレット等に表示できるように改められたもので、最新情報の提供と紙資源の節約がポイントとされています。当社としては、添付文書が同梱されなくなることで、中身の保護性が低下しないよう様々な形状提案を行っており、紙資源の節約にも貢献しております。



パルプモールド



従来はプラスチックが中心であった成形ブリストア。石油由来原材料の使用削減を目指し、プラスチックではなく、竹とバガスを溶解させた素材を使用した「パルプモールド」のご提案を行っております。脱プラに加え、非木材を使用しているため、森林の保護にも寄与いたします。ご要望に合わせて

着色・印刷・箔押・吊り下げ穴・貼箱/組箱との組み合わせなど多様な加飾・包装形態、様々な用途への使用が期待されます。

改ざん防止パッケージ

店頭で販売される商品のパッケージは不正な開封を防止するため、フィルムでパッケージ全体を巻いたり、蓋をテープなどで留めたりしています。この改ざん防止パッケージは、一度蓋を閉めるとジッパーなどで開封しない限り開けることができない構造になっています。フィルムやテープといった資材が必要ないため、環境負荷低減に寄与いたします。



事業継続計画 (BCP : Business Continuity Plan)

当社の生産体制は市場別・製品群別に分けた工場体制を構築しており、グループ各社と合わせて同仕様製品を複数の生産拠点で製造できるよう機械設備を設置しています。

また、これまで富山市に集中していた当社の工場立地状態に鑑みて、2015年8月に京都府木津川市に新たな製造拠点として京都クリエイティブパークを新設しました。これによって、富山地区と連携した供給体制の構築が可能となりました。また2021年4月より京都クリエイティブパーク西棟も稼働し、製造拠点の効率化、BCPの強化に寄与しております。



ESG外部認証機関への参加

当社では、CDP、EcoVadis、Sedexの3つの国際的なESG外部認証機関に参加し、お客様とのサプライチェーンの中で、自社のCSR活動を向上させています。毎年、積極的にPDCAサイクルを回し、CSR活動を推進していく中で、EcoVadisの評価システムでシルバーメダルを獲得することができました。今後も外部評価サービスを活用しながら、全社の課題を洗い出し、課題解決に向け取り組んでまいります。



小集団活動

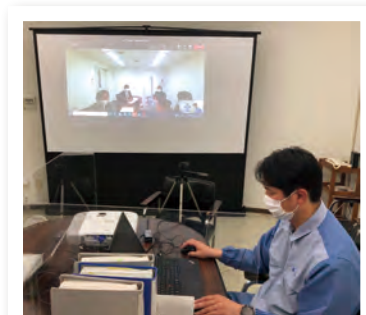
社内では、少人数のチームに分かれて小集団活動を実施しています。業務改善・品質改善・3Sなどさまざまなテーマで活動しており、年に2回各部門から代表チームを選抜して、小集団成果発表会を実施しています。優秀な活動内容については表彰しており、各チームともに工夫を凝らし、熱のこもった発表をしています。



Topic…リモートワークの促進

～コロナ禍でも繋がる、伝わる、関わりあえる双方向コミュニケーションを維持、
発展させるリモートワークの推進～

医薬品メーカー様による工場の定期監査。従来は、富山や京都にある当社製造拠点にご来場いただき実施しておりました。コロナ禍における来社制限下でも定期監査を行えるようリモート監査要領をまとめ、遠隔地から今までと同様に実地のご確認をいただくため通信環境、ツールを整備いたしました。今後は、リモートでの立会校正など遠隔地からカラーマッチングを行うことや、バーチャル工場見学なども視野に導入検討を進めて参ります。これらの活動は、今後企業活動で削減が求められるGHGプロトコルイニシアチブにおけるスコープ3にも貢献できるものと考えております。





CSRテーマ 従業員満足の向上

私達は、従業員が安心して働くことができる、安全・健康に配慮した職場環境を整備し、従業員の意欲向上につながる制度や人材開発のための教育体系を整備することで、従業員満足の上を推進します。

課題		2021年度目標	2021年度実績	評価
ワークライフバランスの取れた働き方	①多様な働き方をサポートする制度設計	制度の設計・活用	男性の育児休業取得	○
	②従業員の健康維持：従業員全員の健康診断受診	受診率100%	受診率100%	○
	③有休取得率の向上	2025年で75%取得	64.7%	○
	④平均残業時間の維持・改善	20時間/年	16時間/年	○
ダイバーシティによる会社の活性化	①女性の職業生活における活躍の推進（係長級以上への登用）	10%以上	6.2%	△
	②障がい者の法定雇用率の維持	法定雇用率の維持	法定雇用率の持続	○
	③外国人の採用（外国人研修生を除く）	1名（計画）	0名	×
	④高齢者雇用の促進（雇用継続制度の継続）	再雇用率90%	100%	○
ハラスメントの撲滅（セクハラ、パワハラ等）	①新任管理職への教育の実践（集合研修）	実施率100%	実施率100%	○
	②全従業員向け啓蒙活動の実施	実施率100%	実施率100%	○
	③相談窓口対応	案件解決率100%	案件解決率100%	○
業務災害ゼロの実現	①休業労働災害0件の達成	0件	0件	○
	②リスクアセスメントの推進（生産設備・化学物質）	計画達成率100%	達成率98%	○

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。（○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満）

健康管理への取り組み

健康経営

当社は、従業員が心身ともに健康でいられるように2018年より健康経営をスタートしました。その取り組みが評価され、日本政策投資銀行（DBJ）による健康経営格付けを2018年3月に取得いたしました。より積極的に取り組むため、同年6月に全国健康保険組合が健康づくり優良企業に認定する「健康企業宣言」で、2019年6月にStep 1（銀）の認定を受け、更に取り組みを進め2020年3月にStep 2（金）の認定と評価を受けました。

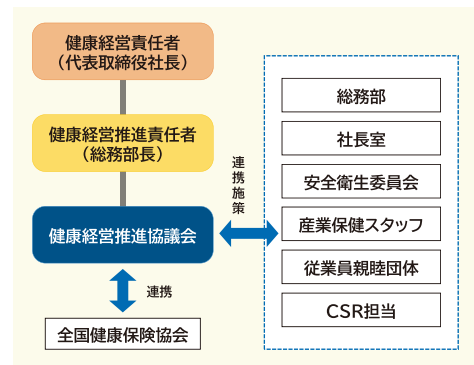
2021年、2022年には2年連続で、経済産業省が創設した健康経営の顕彰制度における大規模法人部門にて「健康経営優良法人」の認定をいただいています。



健康経営の推進体制

「健康経営推進協議会」を設置し、代表取締役社長を健康経営責任者とする推進体制を整備しました。

協議会においては、従業員の健康課題の共有や取組み計画の策定などを行い、関連部門や安全衛生委員会、産業保健スタッフ、従業員親睦団体とも連携しながら取組みを実行していきます。



経営トップによる健康宣言

「健康経営宣言」

朝日印刷グループは、美と健康に関する事業を展開する企業として、従業員の健康を重要な経営資源、企業活力の源泉として捉え、「健康経営」の実現に向けた取り組みを推進します。朝日印刷の経営理念実践と企業価値の向上を追求し続けるためには、会社の財産である従業員一人ひとりが、心身ともに健康で、仕事も家庭も充実した健やかな毎日を送ることができる環境づくりが大切です。働きがいのある笑顔溢れる企業を実現するため、「健康経営」の取り組みを経営方針として位置づけ、会社、従業員親睦団体、従業員とその家族が一体となって、健康の保持・増進、ワークライフバランス充実、職場環境の改善に取り組んでいくことを宣言いたします。

令和2年3月 朝日印刷株式会社

健康経営の重点方針

健康経営を推進するにあたっての特に重要視する方針として3つのことを定めています。

1. 従業員自身が自立的に健康の保持・増進に取り組むことを積極的に支援します。
2. 従業員とその家族が笑顔で過ごせるように、会社、従業員親睦団体、従業員とその家族が一体となって、ワークライフバランスの充実と心身の健康づくりを推進します。
3. 働きがいのある企業の実現により、従業員の活力と企業価値の向上を追求します。

健康経営の数値目標

健康経営推進におけるKPIとして「心身の健康の保持・増進」及び「働き方改革」に係る以下の10項目を設定し、進捗の確認及び目標達成に向けた取り組みを進めていきます。

	現状	目標値		
		2021年度	2023年度	2025年度
(1) 健康診断受診率		100%	100%	100%
(2) 肥満※1	男性	26.8%	21.0%	20.0%
	女性	13.6%	10.0%	9.5%
(3) 脂質リスク※2		26.1%	23.0%	22.0%
(4) 血圧リスク※3		12.4%	8.5%	7.5%
(5) 血糖リスク※4		11.9%	9.0%	8.0%
(6) 特定保健指導の該当者率		19.3%	17.0%	16.0%
(7) 喫煙率		22.7%	22.0%	19.0%
(8) 1 か月以上の休業者発生率		0.09%	0.10%未満	0.10%未満
(9) 時間外労働 (平均残業 時間/月)		16時間	17時間以内	15時間以内
(10) 有給休暇取得率		64.7%	70.0%	75.0%

※1 BMI \geq 25kg/m²の割合
 ※2 中性脂肪300mg/dl以上またはLDL-C140mg/dl以上またはHDL-C40mg/dl未満
 ※3 収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上
 ※4 空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c6.0%以上

安全衛生への取り組み

私達は「人命尊重」を基本理念として、朝日印刷で働く全ての人の安全と健康を確保することを企業活動の基盤とし、全ての人が参加するカタチで、安全・衛生活動を推進し、「安心して働くことができる職場」を実現してまいります。

安全衛生委員会による職場の安全衛生の維持改善

当社は、全社を管轄する中央安全衛生委員会の下部に各事業所での安全衛生委員会を設置し、全社で安全・衛生方針の浸透と、各職場に応じた安全・衛生活動を推進しています。

職場のリスクアセスメント活動の推進

労働災害を発生させない「安心して働くことができる職場」を実現させるための取組みとして、機械設備及び化学物質のリスクアセスメントを実施しています。

職場内の危険性や有害性のリスク低減措置を講じていくことで、職場内に潜む危険の芽を摘み取り、本質的な安全対策を推進しています。



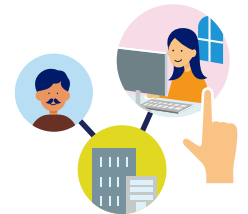
働きがいへの取り組み

人事考課のフィードバック面接

当社では、従業員一人ひとりと人事考課成績のフィードバック面接を実施しています。これによって、会社業績への貢献度や今後の成長について上司と話し合うことで、会社と従業員がお互いに成長していきける姿を目指しています。

多様な働き方

従業員の親睦団体により、ポーリング大会、ソフトボール大会、ハイキング、クリスマスパーティーなどのイベントが開催され、多くの従業員が参加しています。



人材育成への取り組み

教育・訓練（人材育成）に関する基本的な考え方

私達は、階層別・職種別に教育・訓練を定期的に実施し、各人の役割を担えるようにレベルアップに取り組み、会社の業績貢献ならびに全ての利害関係者の信頼に繋げています。

朝日教育委員会

当社は、朝日教育委員会を設置し、新しい研修の企画や既存の研修内容のブラッシュアップをすることで、未来に活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

教育体系

当社は、明日の当社を担う人材を育てるため、さまざまな研修プログラムを実施しています。



	集合教育			通信教育	資格取得	外部研修
	専門教育	マネジメントスキル	ヒューマンスキル			
管理職	○	○	—	○	—	○
監督職	○	○	—	○	—	○
上級	○	—	○	○	○	○
中級	○	—	○	○	○	○
初級	○	—	○	○	—	○

Topic…新型コロナウイルスワクチンの職域接種の実施

朝日印刷株式会社では2021年に続き、2022年3月「健康経営優良法人2022大規模法人部門」に2年連続、認定をいただきました。

一層の従業員の健康維持・向上に取り組む中、昨年には新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、接種を希望する朝日印刷グループ、取引先および協力会社を対象とした新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施しました。

職域接種は当社保健師が中心となって進め、徹底した感染対策のもと、1回目、2回目はそれぞれ4日間の日程で約1000名がモデルナ製ワクチンの接種を完了しています。今年の5月には3回目の職域接種が行われ、約600名が追加接種を終えました。

職域接種の実施では、受付から医師の予診、接種、経過観察までの全工程を滞りなく進めることができ、予定通りに日程を終了いたしました。

新型コロナウイルス感染症は現在も収束には至りませんが、当社は今後も引き続き、従業員とそのご家族の健康維持・向上に努めてまいります。





CSRテーマ 公正で透明性の高い経営

私達は、上場企業として企業倫理の徹底をはじめ、内部統制を整備し、公平で透明性の高い経営を推進します。

課題		2021年度目標	2021年度実績	評価
ガバナンス	①法定業務の遅延なき開示の実施及び違反ゼロ	違反0件	違反0件	○
	②取締役会でのガバナンス講習会の実施	年1回以上の実施	1回	○
リスクマネジメント	リスクの抽出・改善計画を作成し実施	計画達成率100%	計画達成率50%	×
コンプライアンス	①新入社員への教育実施	計画達成率100%	計画達成率100%	○
	②全従業員への教育実施	計画達成率100%	計画達成率99%	△
サプライヤーとの関係構築	①調達基本方針に沿った購買活動の実施	主要取引先にアンケート実施、課題抽出	取引先50社に実施	△
	②お取引先様へのアンケートによる課題の抽出	主要取引先へのアンケート実施	回答率100%	○
	③法令違反なし（内部監査室による調査）	違反0件	違反0件	○

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。（○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満）

コーポレートガバナンス

基本的な考え方

当社のコーポレート・ガバナンスの目的は、効率性及び透明性のある経営を行うことで、全てのステークホルダーにとっての企業価値を持続的に高めることであると考えます。

企業の最も重要な使命は、株主からの負託に応えることではありませんが、同時に、従業員、取引先、地域社会等株主以外のステークホルダーに対しても責任を果たし、社会から信頼されなければなりません。このようなことを踏まえ企業活動を行うには、コーポレート・ガバナンスの充実が、経営上の重要課題であると考えております。

そのためには、コンプライアンスを重視し、的確な経営の意思決定及びそれに基づく迅速な業務執行並びに適正な監督・監視が可能な経営体制の構築が必要であると考えております。

また、経営の透明性の見地から、迅速で適切な情報開示も必要と考えております。

基本方針

- 株主の権利・平等性の確保に努めます。
- 株主以外のステークホルダー（お客さま、取引先、債権者、地域社会、従業員等）との適切な協働に努めます。
- 適切な情報開示と透明性の確保に努めます。
- 透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うため、取締役会の役割・責務の適切な遂行に努めます。
- 株主及び一般投資家との建設的な対話に努めます。

朝日印刷グループ調達基本方針

私達は、「すべてのお客様は大切なパートナーである」との考えに基づき、お取引先に対し、誠実な対応を行うことを心掛け、以下の方針に沿ってCSR購買活動を行います。

健全な事業活動や社会的責任を果たすために、重要なパートナーであるお取引先様にも弊社の調達に関する基本的な考え方をご理解いただき、ご協力いただくことが不可欠と考えています。

お取引先様と共同でCSRを推進すべく、方針に則った活動をお願いしています。

朝日印刷グループ調達基本方針

1. お取引先との継続的なパートナーシップの構築

私達は、お取引先とは長期的な信頼関係を構築し、良きパートナーとしてともに繁栄、存続していく共存共栄の関係を目指します。

2. 公正かつ公平な取引

私達は、お取引先の選定にあたり下記項目を総合的に評価し、国内外を問わず、新規希望者に対しても公平な機会を提供し、お取引先とは対等な関係で真摯に対応します。

- ・共に発展していける信頼性
- ・お取引先の技術力
- ・情報提供力
- ・購買品目の品質、価格、納期など

3. 安定調達とリスク管理

私達は、購買品の安定調達のために、適切な基準に基づいた発注を行い天災・事故などの不測の事態にも備えた購買プランを目指します。

4. 法令や社会規範の順守

私達は、購買品の調達に関連する法令・社会規範を順守し、知的財産権を侵害しません。また、反社会的な組織との取引は行いません。

5. 環境保全

私達は、環境保全に取り組むため、お取引にあたり、地球に優しい「グリーン調達」に努めます。

6. 情報管理

私達は、お取引において知り得た情報は、下記の通り機密事項として取扱います。

- ・お取引先、自社、第三者の個人情報を秘密として保護します。
- ・お取引先、自社の機密事項を適切に管理し、漏洩防止に努めます。

7. お取引先とのCSR活動

私達は、調達活動において企業の社会的責任（CSR活動）を意識し、コンプライアンス・人権尊重・労働基準・グリーン調達などをお取引先選定の基準のひとつとし、お取引先とともに協力して持続可能な社会の発展に貢献します。

サプライヤーアンケートの実施

当社は、お取引先の皆様に朝日印刷グループの調達方針をお知らせすると共に、お取引先様と相互に信頼関係を構築し、共にCSR活動に積極的に取り組めるようCSRアンケート実施しています。CSRアンケートの実施により、当社およびお取引様の取り巻く環境の課題抽出・解決を行っています。

昨年度も50社のお取引先様のご協力のもと、CSRアンケートを実施し、課題抽出を行いました。今後もサステナブルな社会の実現のため、サプライチェーン全体で、コミュニケーションをより深め、CSR活動に取り組んでまいります。

「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言

当社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動に賛同し、自主行動宣言を提出しました。



1. 「ホワイト物流」推進運動とは…

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的に、次の点に取り組む運動です。

1. トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化
2. 女性や60代以上の運転者も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現

2. 朝日印刷の自主行動宣言について

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

(取組方針)

- ・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令順守への配慮)

- ・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

- ・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。
- ・当社では、2015年より製品輸送の標準化・輸送品質の向上を目指した、物流改革を進めて参りました。この取り組みは、今回のホワイト物流推進が目指している事項と合致しております。当社における物流改革への取り組みを更に進めてまいります。

「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト…<https://white-logistics-movement.jp>



朝日印刷グループ情報セキュリティ基本方針

私達は、当社の事業活動の中で取り扱う全ての情報について、ステークホルダーと弊社の情報資産を守り、社会から信頼される企業であり続けることを目指して、以下の方針に沿って事業活動を行います。

1. 法律及び社会倫理の遵守

私達は、情報セキュリティに関する法及び社会倫理を遵守して参ります。(個人情報に関しては、その重要性を鑑み、別途、個人情報保護方針を定め、その保護に努めます)

2. 管理体制

私達は、情報資産を適切に保護・管理するために必要な管理体制を構築します。

3. 継続的改善

私達は、情報資産の取り扱いを継続的に改善するよう努めます。

4. 教育・訓練活動

私達は、情報セキュリティの重要性を認識し、本方針に関する教育・訓練を継続的にを行います。

5. 事故への対応

私達は、情報セキュリティ事件・事故が発生した際は、迅速に処理し、被害の拡大を防止します。また、早急な原因究明と再発防止策を含む適切な対策を速やかに実施します。

リスクマネジメントについて

私達は、事業を継続して社会に貢献していくために、グループ全体のリスクを把握・分析し、課題解決に向けた取り組みを行っています。

リスク管理委員会の設置

企業活動の持続的発展を阻害する業務執行に係るリスクをトータルに認識・評価し、適切なリスク対応を行うため、各部門責任者、グループ企業社長などを委員とする、「リスク管理委員会」を設置しています。「リスク管理委員会」ではリスク対応状況を把握・検討し、必要に応じた対策を指示しています。

Topic…富山SCMセンター倉庫棟稼働開始!

当社物流拠点であり、初の自社倉庫となる富山SCMセンター倉庫棟竣工式を2022年3月30日に執り行いました。電動移動式ラックを導入し、保管効率を高めた仕様となっており、物流基盤の安定と強化、更にはホワイト物流賛同企業としての活動を今後も推進してまいります。





CSRテーマ 次世代へ受継ぐモノ作り

私達は、美しい地球を守ることの重要性を認識し、環境保全を意識したモノ作りを継続的に取り組みます。

課題		2021年度目標	2021年度実績	評価
環境負荷低減	エネルギー使用量の年1%以上の削減	昨比1.0%以上削減	4.1%増加	×
	CO ₂ 排出量の削減	昨比1.5%削減	2.4%減少	○
	リサイクル率の維持	95%以上の維持	97.0%	○
	生産現場での省エネパトロール活動の推進	計画実施率100%	計画実施率100%	○
環境法規制の順守	環境法令に関連する行政指導件数	0件	0件	○
森林認証紙の使用比率の向上	原紙購入量における森林認証紙の比率向上	10%以上	11.8%	○
CSR・SDGs教育の実施	CSR教育の実施（新入社員）、CSR・SDGs教育の機会の創出	教育実施	教育実施 新入社員・役員・管理監督者	○
朝日グループ企業の社会的価値向上	グループ会社でのCSR活動の推進サポート	ニッポー(株) 森林認証取得 CSRワンスター取得 協和カートン EA21取得	ニッポー(株) 森林認証取得 CSRワンスター取得 協和カートン EA21取得	○

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。（○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満）

環境基本方針

私達は、美しい地球を守ることの重要性を深く認識し、「地球環境の保全」、「生物多様性」、「気候変動の緩和」、「持続可能な資源の利用」に配慮した企業活動を推進し、社会的責任を果たしていきます。

朝日サーキュラー

朝日印刷が考えるサーキュラーエコノミー（循環型経済）

朝日印刷は、包装というサーキュラーエコノミーの一部を担っています。CO₂削減、リサイクルの推進、認証紙の使用や化石由来の原料の非使用など、新しいエコロジー包装の開発に努めています。

ISO14001：2015認証取得

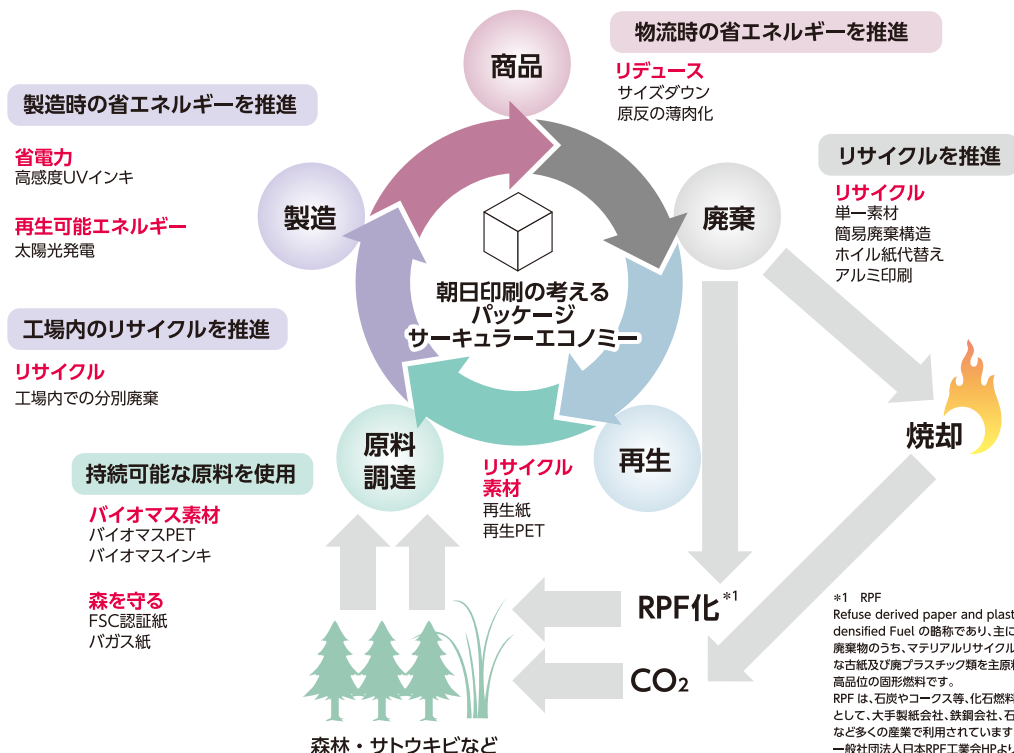
2002年よりISO14001の認証を取得し、環境マネジメントシステム(EMS)を構築することで、環境保全の取り組みを推進しています。環境委員会を組織し、環境に係る活動や情報を全拠点に展開しています。また、法令順守されていることを評価・確認する仕組みもEMSの中で構築しています。組織全体でより一層環境負荷の少ない材料の採用や生産設備の導入を進めて、環境負荷の低減に努めてまいります。



JQA-EM2115

【認証範囲】生産本部

医薬品・化粧品などの包装材料及び添付文書的设计・開発及び製造
医薬品・化粧品容器などへのラベル的设计・開発及び製造



森林認証紙

森林認証制度について

森林は紙の原料として、私達の生活を豊かにするために必要不可欠である一方、生物多様性の点からも適切な森林管理が求められています。適切な森林管理とその森林に由来する製品を認証する「森林認証」という制度があります。世界にはさまざまな認証制度がありますが、日本においては、内容の異なる次のような制度が普及しています。FSC® (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会) PEFCC (Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes、森林認証制度相互承認プログラム)

森林認証制度の仕組み

森林認証紙の銘柄は、多く販売されていますが、森林認証製品として認められるには、CoC認証を取得した印刷会社で製造された製品である必要があります。当社では、2009年にFSCのCoC認証 (SGSHK-COC-006077)、2012年にPEFCのCoC認証 (SGSJP-PCOC-1561)を取得しており、10年以上に渡り活動を継続しています。また、当社グループ会社のニッポーでも認証を取得 (SGSHK-COC-350100) し、グループ全体で、お客様の多様なニーズに応えられる体制を整えています。



森林認証製品とSDGs

森林認証紙を採用することは、国連サミットで採択された持続可能な開発目標 (SDGs) の目標15「陸の豊かさも守ろう」に大きく貢献します。しかし、目標15だけではなく、貧困や飢餓、教育、平等、エネルギー、労働環境など様々な目標についても大きく貢献します。森林認証製品とSDGsの関係については下記、サイトをご確認ください。



FSC Japan HP…https://jp.fsc.org/jp-ja/FSC_Japan
PEFC HP…<https://sgcc-pefc.jp/>

森林認証製品と当社の最近の動向

最近では、ESGやSDGsの観点から積極的に森林認証紙を採用していただけるお客様も増加しており、化粧品メーカー様だけでなく、OTCメーカー様や医薬品メーカー様など様々な業界に広がっています。当社は森林認証製品を通じて、サプライチェーン全体でSDGsへの貢献および持続可能な社会の構築に努めてまいります。

グリーンボンド・レポート (2021年度)

2022年7月末までに調達資金の全額を借入金返済に充当完了する見込みです。

グリーンボンドによる資金調達に関連するレポートは下記の通りです。なお、概要については、p. 5のTopicをご確認ください。

対象となる施設(グリーンビルディング)	京都クリエイティブパーク西棟
対象となる施設の環境評価種類とランク	CASBEE® 建築(新築)B+ BEE 1.4
年間のエネルギー使用量	1786 kL
年間のCO ₂ 排出量	2591 t CO ₂

※エネルギー使用量・CO₂排出量は京都クリエイティブパーク東棟も含む値となります。



とやま未来創生でんき

朝日印刷では生産だけでなく、営業や本社のメンバーにも環境問題やエネルギー問題に関心を持ってもらうため、富山の営業拠点であるクリエイティブセンターの電力の一部に「とやま未来創生でんき」を使用しています。「とやま未来創生でんき」とは富山県と北陸電力株式会社が、富山県営水力発電所の電気および環境価値を活用した、富山県の発展に資する電気料金メニューです。



また、電力の地産地消および持続可能性という観点からもサステナビリティについて考えるきっかけとなり、今後も化石燃料に依存しない、CO₂排出量を抑制する電力供給の在り方を会社全体で考えてまいります。

省エネルギー・省CO₂活動

最もエネルギーを使用する生産を中心に、あさひ省エネルギー委員会・省エネルギーチームを組織して、省エネルギーや省CO₂に関する課題への取り組みを推進しています。

富山県SDGs宣言

当社は積極的にSDGsに取り組むため、「富山県SDGs宣言」に参加しております。定期的に目指す姿勢を見直し、優先的に実施すべき取り組みを抽出しながら、効率的な行動をしております。また、それらの活動を「見える化」をし、広く情報を発信してまいります。

富山県SDGs宣言HP…
<https://www.sdgs-toyama.jp/>



従業員へのCSR・SDGs教育の実施

昨年度は初めて役員および管理監督者に対して、SDGs勉強会を実施いたしました。なぜ、SDGsが必要なのか、当社としてどのような取り組みができるかなど、自分たちの役割から考えてもらうきっかけとなりました。また、フレッシュな観点から当社がどのような社会的役割をになっているのかを考えてもらうため、新入社員にはCSR研修を実施しています。今後も積極的に教育を実施し、全従業員でSDGsに取り組んでまいります。





CSRテーマ 社会との調和

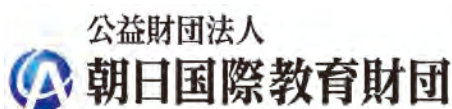
私達は、美と健康に関する包装事業を通じ、豊かで快適な生活文化の創造に寄与する活動に参加することで企業使命を果たしていきます。

	課題	2021年度実績	活動概要
朝日国際教育財団を通じた活動	奨学金支給人数計画の達成	32名	下記、朝日国際教育財団および財団HPをチェック
社会貢献	①献血への積極的な協力・啓蒙活動	受入中止 (コロナ禍のため)	例年、年2回開催
	②寄付活動	富山市	下記、富山市新型コロナ対策基金への寄付をチェック
朝日ビジネスサポートを通じた活動	①採用人数 (障がい者の正社員雇用の継続・維持)	3名	法定雇用率は順守されている
	②フェイスシールド寄付枚数	1,168枚	職域接種会場への寄付など
学習教育・就労体験	①中学生の工場見学の受け入れ	富山工場で実施	箱づくり体験講座を開催
	②機電工業会を通じた中学校への講師派遣	4回	ものづくり教育の一環として講師派遣を実施
	③大学3年生向け単独説明会	6回	インターンシップも年4回開催
情報発信	①IR活動(対面・WEB)	8回	投資家向け会社説明会
	②CSR活動社内啓蒙発信	社内報・ポスター	今後も定期的に発行予定
	③得意先様への環境提案活動 (CSR委員会が関与したもの)	10回	今後も要望に応じて、都度開催予定
社内イベント	①クラブ活動	15クラブ	従業員の福利厚生として実施
	②朝親会活動	従業員作品展・年末大抽選大会	例年、クリスマス会やボウリング大会などを開催

公益財団法人 朝日国際教育財団

創業140周年記念で設立した公益財団法人 朝日国際教育財団では、富山県内の大学に在学するアセアン諸国及びその他海外からの有能な留学生に対する奨学援助を行っています。将来、若者たちの夢が叶うことを願い、奨学支援ならびに留学生の交流等を行ってまいります。

公益財団法人朝日国際教育財団HP…<https://www.asahi-fie.com/>



富山市新型コロナ対策基金への寄付

創業150周年の節目の年に地域や市民へ感謝の思いを込めて富山市役所を訪問し、藤井市長に新型コロナ対策基金に500万円の寄付を実施いたしました。藤井市長からは「大変有難い、若年層の感染拡大を抑える、有効に活用したい」と感謝のお言葉をいただきました。



各社の様々な認証取得

全印工連CSRワンスター認定 (朝日印刷・ニッポー・阪本印刷)

当社は全日本印刷工業組合連合会(以下、全印工連)で認定されている、「CSRワンスター認定」を取得しています。グループ会社のニッポーおよび阪本印刷も取得いたしました。



P-00038

エコアクション21(協和カートン)

グループ会社の協和カートンでエコアクション21を取得いたしました。エコアクション21とは環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムであり、環境経営システムに関する第三者認証・登録制度です。



今後もグループ一丸となって、様々な認証取得にチャレンジしてまいります。取得した認証の維持・更新にも努めて、社会的信用の向上に繋げるとともに、グループ横断的に業務の効率化・経営の改善を図ってまいります。また、コンプライアンスの強化も実施し、サステナブルな社会の実現に努力してまいります。

全印工連CSRワンスター認定HP…http://www.aj-pia.or.jp/csr_main/
エコアクション21HP…<https://www.ea21.jp/>

国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクトについて

国連グローバル・コンパクト（UNGC）は、国連と民間（企業・団体）が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアチブです。

各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための自発的な取り組みです。

UNGCに署名する企業・団体は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続しています。

当社は2021年6月、UNGCに署名しました。UNGCの原則に賛同する企業として、今後も引き続き、人権保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗防止に関わる取り組みを継続し、その実現に向けて精進してまいります。

国際グローバルコンパクトHP…<https://www.ungcn.org/index.html>

国連グローバル・コンパクトの4分野10原則

人権

1. 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
2. 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

労働

3. 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
4. あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
5. 児童労働の実効的な廃止を支持し、
6. 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

環境

7. 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
8. 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
9. 環境にやさしい技術の開発と普及を奨励すべきである

腐敗防止

10. 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

Topic…「朝日印刷ビジネスサポート株式会社」の紹介

朝日印刷株式会社 特例子会社

包むこころ・結ぶきずな



朝日印刷ビジネスサポート株式会社

朝日印刷ビジネスサポート株式会社は、障がい者雇用を目的とした朝日印刷の『特例子会社』です

会社概要

所在地 富山市婦中町板倉492番2(朝日印刷富山工場敷地内)
TEL/FAX 076-461-5377 / 076-461-5319
資本金 3000万円(朝日印刷100%出資)
従業員数 27名(うち障がい者20名)※2022年6月時点
事業内容 親会社朝日印刷の生産サポート業務、清掃・緑地管理業務

※朝日印刷ビジネスサポート株式会社は、2019年12月11日、「障害者雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社として厚生労働大臣の認定を取得しました。



事業内容 >>> 社員一人ひとりが戦力として活躍できる場を提供していきます！



富山県内初！もにす（障害者雇用優良法人）認定

朝日印刷ビジネスサポートからのメッセージ

企業理念である「共生・理解・自立」に基づき、障がいの有無に関わらず、共に生き生きと仕事に取り組むことができる共生社会の実現にチャレンジしていきます。今回の認定が、県内外の企業に障がい者雇用の輪が広がっていく一助となればうれしいです！



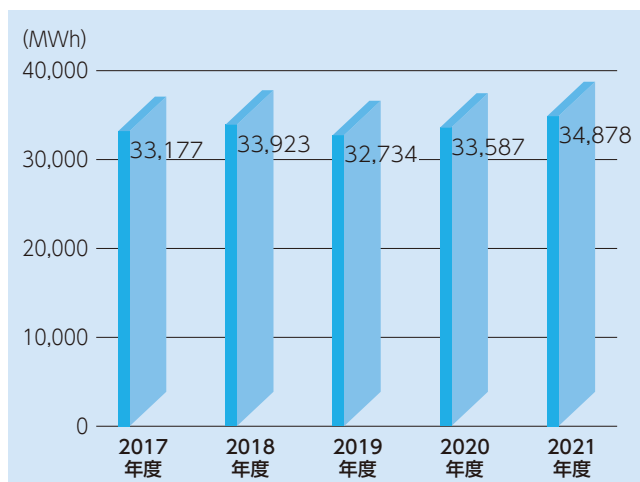
と も に す す む

もにす認定制度とは：
障害者雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度として2020年に創設。企業と障がい者が「とにもにすすむ」という意味を込めて名付けられました。

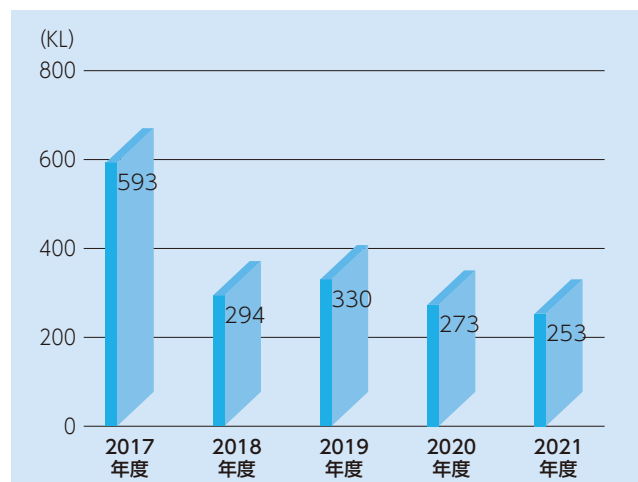


事業関連データ

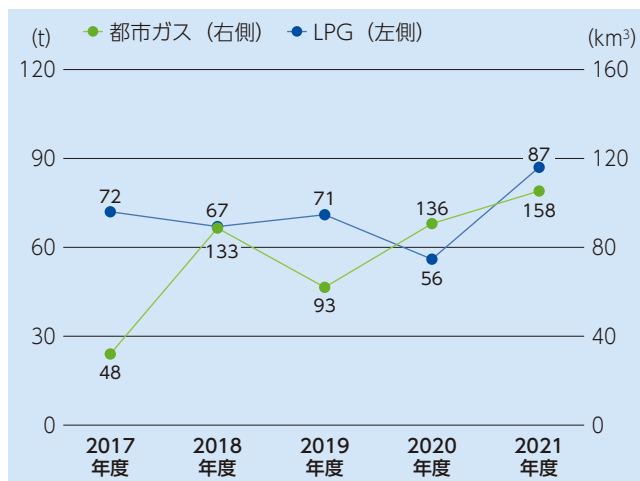
電力使用量



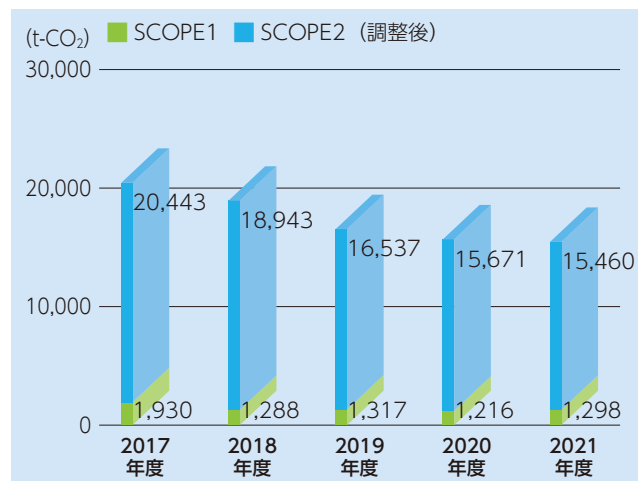
A重油使用量



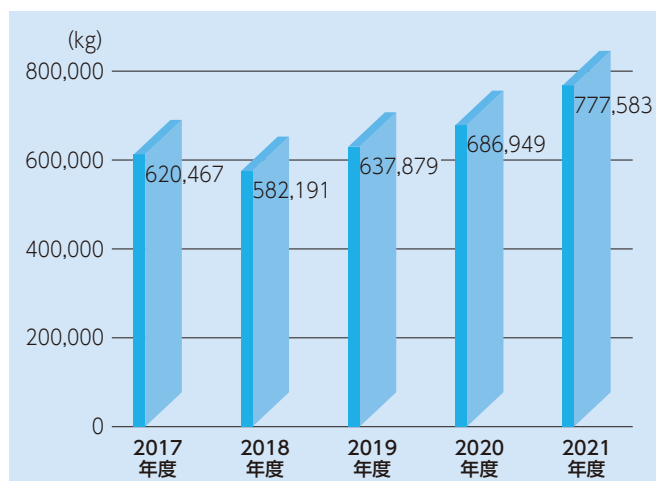
ガス使用量



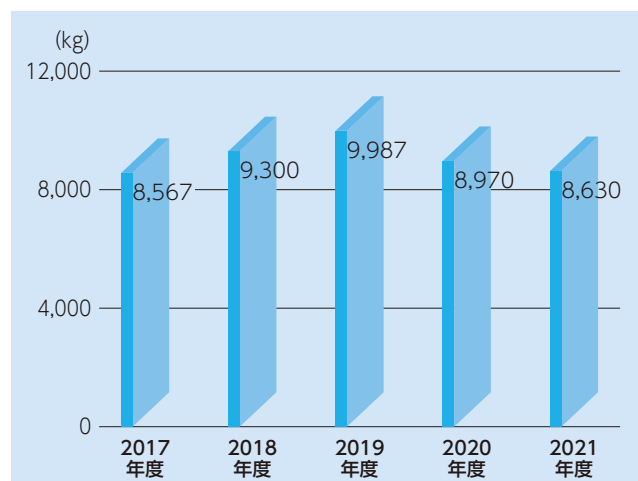
CO₂排出量



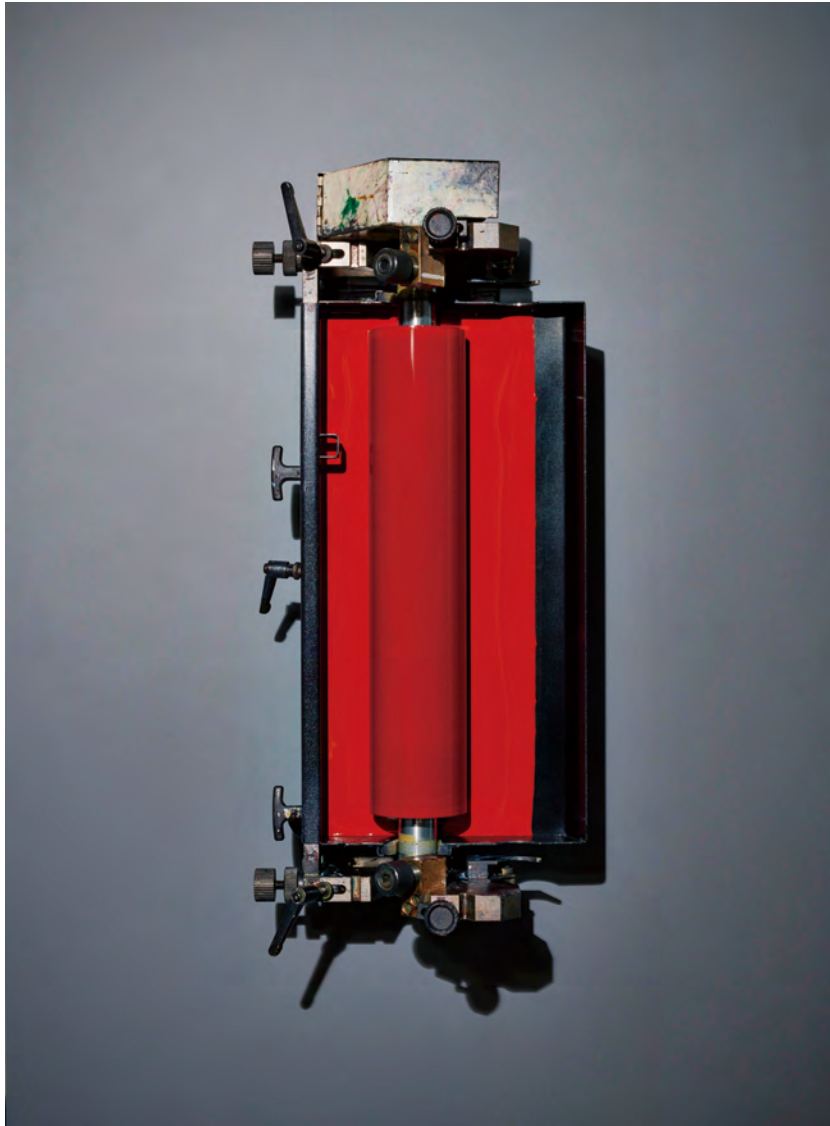
産業廃棄物排出量



PRTR物質移動量



※PRTR物質：化学物質排出把握管理促進法に基づいて、人や生態系への有害性が認められる物質として指定されているもの



フレキシファウンテンユニット

編集方針

2018年度にCSR活動方針を定め、CSR活動を本格的にスタートさせました。この度、多様なステークホルダーの方々とのコミュニケーションのツールとして「CSR報告書2022」を作成しました。こちらは、主に当社の非財務活動に関連するCSR活動についてご説明する年次報告書となります。

当社のCSR活動について、多くの方々に理解を深めてもらうために、今後も内容を充実させていきます。ご意見・ご感想がありましたらなんなりとお聞かせください。

報告対象組織

本レポートは、朝日印刷株式会社単体の活動報告となり、連結会社は一部のみとしています。連結会社も含めた報告は、今後の対応事項として検討を進めていきます。

報告期間

2021年04月01日 ～ 2022年03月31日

※実績データ以外の項目においては、2022年度の内容も含まれます。

参考ガイドライン

環境報告ガイドライン2018年度版(環境省)、ISO26000：2010

本書における注意事項

本書に掲載されている当社の計画、見通し、戦略、判断などのうち、過去の歴史的事実以外のものは、当社の将来の見通しに関する表明であり、当社の経営陣が現在入手可能な情報・仮定および判断に基づいて作成されており、様々なリスクや不確実性を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績は様々な要因によって変動する可能性があります。

朝日印刷株式会社

社長室

〒930-0061 富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル

TEL 076-491-6135

<https://www.asahi-pp.co.jp/>

発行 2022.07



本冊子のアンケートになります。
皆様のご意見をお聞かせください。

